

*光陰矢のごとし、はや7月となり一年の半分が終わって折り返しとなる月です。7日は七夕で、笹に飾る短冊には今でも願い事を書いて吊りますが、昔は文字や詩歌が上達することを願って短冊に書いたそうで、旧暦名の「文月」の呼び名の由来もそこから来たという説があります。ツバメが舞い、笹の葉が揺れて牽牛と織姫が再会する七夕祭り。昔からの風習が続いていることで、地上は何も変わっていないと錯覚しているのでは？そんなロマンはいつまで続くでしょうか。

*過日のニュースによれば、海の中では深海1万mのところまで、使い捨てプラスチックゴミが溢れており、海洋生物が誤食することでプラスチックの生物輸送が行われ、別の海域にもプラスチックが運ばれているとのこと。2月下旬にスペインの海岸に流れ着いたクジラの死骸は30kg近くのプラスチックゴミを飲み込んでいてガリガリに痩せていたという。海鳥もまた浮遊しているプラスチックを見つけては餌さ待つヒナ鳥に与え、親からもう餌に混じったプラスチックを食べたヒナ鳥は、巣立ち前にそのプラスチックが原因で死亡しているというニュースもありました。

世界中で廃プラ類の処分が深刻な問題となっている今こそ、目の前からゴミが消えれば良いという安易な心が地球全体を汚していくことに気づき、対策を講じてゆかなくてはなりませんね。

*東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理を“いつでも”お受け致します。身近なりサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp/>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当



☆羅針盤

- 鉄スクラップ → 考察
- 銅 → 考察
- アルミ → 考察
- プラスチック → 考察
- 予測つかず

6月予測の自己評価

鉄スクラップ	×	アルミ	×
銅	×	プラスチック	○

鉄・非鉄スクラップ・市況からの7月予測

営業部 Y の考察

6月は東京製鉄宇都宮工場特級価格36,500円/トンでスタート。最終的には35,500円/トン、1,000円下落しました。主要輸出先である韓国・ベトナムの買意欲の低迷が大きな要因です。さて7月に関しては、中国産のピレット価格の上昇・米国の価格の上昇から見て上げが予想されます。

6月は一時LMEが7,200^F/トンを超え国内銅建値も840,000円/トンまで上昇しましたが、最終的にはLME6,800^F/トン台、国内銅建値780,000円/トンまで下がりました。米中の貿易摩擦の警戒感から見て、7月はまだまだ下がると考えられます。

6月はLME2,200ドル台をなんとかキープ。7月は前半横ばい、後半は上物・裾物とも下がると考えられます。

中国以外の国でも輸出の規制が厳しくなり、廃プラの有価での取引はどんどん厳しくなっているようです。そのため、サーマルリサイクル向け廃プラの品位要求が高くなり、より一層焼却場への依存度が増えています。今後は処分費の価格より、出し先の確保が重要になるでしょう。

☆羅針盤

(部下育成時の一助として)
 心理学者マズローの欲求5段階説



今回はマネジメントの基礎知識として度々紹介される「マズローの欲求5段階説」のトピアです。マズローは、人間の欲求を5段階の階層で説明し、自己実現(目的達成)の過程を簡潔に理論化しております。この説明には図のようピラミッド型の階層図が使われており、「人間は各階層の欲求が満たされると、より高い階層の欲求を欲するようになり、最上階層の自己実現の欲求を満たそうとする。」と説明しております。この説はマネージャーが部下育成時の考え方の一つとして知っておいて欲しい理論と言われているのですが、読者の皆様にも直感的に理解できる内容だと思います。

- 第一階層「生理的欲求」:** 人間が生存するために求める肉体的(本能的)な欲求です。
- 第二階層「安全欲求」:** 生理的欲求がある程度満たされると、安全な環境にいたい、経済的に安定したい、健康を維持したい等の安心安全を満足する欲求を求めます。
- 第三階層「社会的欲求」:** 「安全欲求」が満たされると、家族や集団をつくり、どこかに所属している満足感を得たいという欲求を求めようになります。
- 第四階層「承認の欲求」:** 社会的欲求が満たされると、次に「承認の欲求」の階層に移ります。自分が集団から存在価値を認めてもらい、尊重されたい、人より優れていたいと思う欲求です。
- 第五階層「自己実現の欲求」:** 承認の欲求が満たされると、自分の持つ能力や可能性を最大限に発揮して、目的を達成したいという欲求を求めます。

第三階層迄は、外的(身体的)な環境を満足したい欲求で、第四階層以降は内的(心的)な満足を得たい欲求となります。これらの各階層は欲求の種類を表現しているのではなく、目的に向かって通過する欲求の段階を表しており、マネージャーの視点としては、部下がミッションに向かって進んでいるか、どの階層で立止っているのか、その階層の欲求を満足させる職場環境に問題はないか等々に注意が必要となります。

マズローは自己実現の段階として五階層の欲求を示しましたが、単なる「欲求の種類として、この五つの欲求を見ることもできます。例えば「能ある鷹は爪を隠す」タイプは「自己実現」が出来ている人? 反対に「弱い犬ほど良く吠える」タイプの人は「社会的欲求」か「承認の欲求」に飢えている人? 自慢話ばかりする人は? この様な文章を知ったかぶりで書いてみる筆者は?

現代社会ではこの五つの欲求がピラミッド型の階層ではなく、他の多くの欲求と一緒に同一階層で混沌としているようにも思えます。人間の欲求を整理することは至難の事ですから...



入社面接中に遭遇した東日本大震災

営業部 金野徹

2011年(平成23年)3月11日、入社面接のため東港金属の京浜島本社を訪問しました。まさに、その面接中に東日本大震災が起きたのでした。

最初はちょっと強めの揺れだなと感じる程度だったので面接は続いていたのですが、徐々に揺れが強まり面接は中断しました。面接者の総務部S部長は「ちょっと待って！様子見てくる！」と2階の会議室を出てゆかれ、私はその場に残されました。強い揺れが続き不安でしたが、面接をさせていただいている身なので、指示を無視して動く事は出来ませんでした。しばらく待っていると、やっと思い出して頂けたのか、ヘルメットを持って迎えに来て頂きました。そこで震源地が宮城県沖と聞き、慌てて携帯電話から宮城県の自宅に連絡しましたが繋がらず、急に不安がよぎりました。再度会社の固定電話をお借りして電話したところ実家にいた母親につながり、家族の安否が確認できて心からほっとしたことを覚えています。私の実家は宮城県の内陸部だったため津波の被害はなく、食器が割れる程度で、被害は最小限に留まり本当に不幸中の幸いでした。今、この紙面をお借り致しますと、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

面接中に予期せぬ地震と遭遇し、福島原発災害が起こり、東北道は通行止めとなりましたので、面接後には夜行バスで仙台に帰ろうと考えていたのに、帰宅する交通手段が皆無となってしまいました。10日ほど東京の友人宅にお世話になりながら、帰宅する手段を模索してありましたところ、東港金属でも心配してくれて、山形県の天童市に支店があり、自社便で荷を運ぶ予定があるので、山形県の天童支店まで乗っていかないか?とお声がけ頂きましたので、乗せて頂きました。高速道路が全面通行止めになっていたため下道で12時間の道のりでしたが、途中通過した福島県の市街は放射能の風評被害もでていて、人気がなく真つ暗なゴースタウン状態でした。山形県では雪も降っており、20km前後のスピードでの走行で天童支店に着き、隣県の自宅から両親が迎えに来てくれる迄支店で待たせて頂きました。送って頂けなかったら、しばらく帰れる見込みが無かったため、本当に助かりました。

その後、やっとの思いで一人暮らしをしていた仙台の部屋に帰ることが出来ました。部屋も棚の物が落ちていた程度で大きな被害はありませんでしたし、電気と水道の復旧は早かったのですが、ガスの復旧については都市ガスだったこともあり、1ヶ月ほどかかりました。真冬の冷水で頭を洗わざるをえない状況を経験し、あの時ほど普通の生活が送れることの喜びを感じた事はありません。

肝心の、忘れもしない大揺れの中での面接の結果は、「採用」、の連絡を頂いていたのですが、大震災の影響で4月1日からの入社は出来ず、4月18日より千葉工場にて勤務がスタートすることとなりました。それはまた次に...